

河 第02250002号  
令和4年3月22日

国土交通省  
近畿地方整備局長 様

和歌山県知事 仁坂吉伸

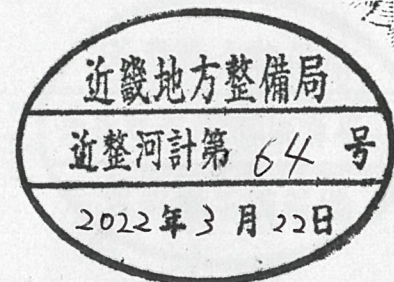


新宮川水系（熊野川）河川整備計画策定について（回答）

令和4年2月25日付け国近整河計第70号で照会のあったことについて同意します。  
なお、事業の実施にあたっては下記の事項に配慮をお願いします。

記

- 1 当計画に基づく河川整備の実施は、地域の意見をよく聴きながら、より一層のコスト縮減に努め、一日も早く完成すること。
- 2 河川整備基本方針において位置づけた既存ダムによる洪水調節機能強化に向けた取り組みを着実に推進すること。
- 3 熊野川の濁水対策については、発生源対策を早期に完成させるなど、流域全体のあらゆる関係者が協働した取り組みを着実に推進すること。
- 4 なお、関係市町村からの意見については、別紙のとおりである。



<新宮市>

異存ありません。

ただし、下記事項についてご留意いただき、特段の御配慮の上、早期に策定されるようお願いいたします。

○留意事項

新宮川水系（熊野川）河川整備計画の策定後においては、外水対策のみならず内水対策や治山や砂防を含めた総合的な土砂管理による濁水対策の充実等、世界遺産熊野川の文化的・歴史的価値を高めるという観点を踏まえつつ、本計画を着実に推進すること。

<北山村>

上流域のダム貯水池での堆砂進行や河道の土砂堆砂について、将来推計など適宜モニタリング調査を行い、堆砂除去や河道掘削、それに伴う残土処理など、流域全体の問題として、計画的かつ効果的な事業を推進していただきたい。

熊野参詣道の「川舟下り」、筏流しの伝統文化を継承する「北山川観光筏下り」は、日本屈指の溪谷美を堪能できる重要な観光資源です。近年、北山川ではラフティングやキャニオニングなども盛んで、毎年、国体カヌー競技の近畿予選なども開催されます。観光振興の観点から、関係自治体と一体となって河川環境の整備保全に取り組んでいただきたい。

※田辺市、那智勝浦町は意見なし